

第111号

館報

たのしみ

芹田の人口と世帯数 (R1.6.1 現在) 男 13,400 人 女 13,573 人 計 26,973 人 12,931 世帯

発行
 長野市立芹田公民館
 TEL 228-3659
 FAX 462-1010
 編集・発行人
 小林 正幸
 印刷所 富士印刷(株)

芹田公民館7月10日業務開始



正面玄関



センター西側



2階廊下



講堂



玄関



料理教室

7月9日 芹田総合市民センターオープン

昨年5月より行われていた市民センター建築工事が6月末で終了し、公民館は7月第一週に移転して、7月9日9時30分よりテープカットを行い、当日は内覧会を開催。翌10日より新しい建物で業務を行うことになりました。

当方は公民館のみが移転し、現在の公民館解体・駐車場整備など外構工事を11月末頃まで行った後、長野市芹田支所・芹田地区住民自治協議会事務局が移転する計画です。

センターには、従来は無かったエレベーターを設置し高齢

者・障害者に配慮するとともに、授乳室も設け子育て中の女性にも配慮した建物です。部屋は、最大180人収容の講堂、20人収容の学習室3部屋、20人収容の和室1部屋他、料理室、工作室が整備されました。

平成10年度に「市民センター

建設」が提案されて以来、芹田地区の皆さんが待ち望んでいたもので、市民センターは地域の行政に係わる中心的な施設になるとともに、地域の高齢者から子どもたちまでがつどい・まなびの場として利用される施設になります。

公民館にお出かけください

- 7月23日 夏の楽しい料理
- 27日 親子わくわく体験
- 30日 おやきづくり
- 8月2日 こども陶芸教室
- 23日 苔玉づくり
- 23日 秋の野菜づくり
- 9月2日 シンガポールの家庭料理
- 3日 ハーバリウム
- 10月4日 つまみ細工
- 5日 芹の里散策
- 29日 秋の楽しい料理
- 19日 森林体験学習
- 11月9日 芹の里散策
- 27日 おやきづくり
- 12月2日 羊毛フェルト
- 7日 しめ縄・餅つき
- 20日 クリスマス・正月飾り
- 1月28日 冬の楽しい料理
- 29日 ハーバリウム
- 2月25日 飾り巻き寿司
- 27日 やしようま作り
- 29日～3月1日 成人学校・クラブ発表会
- 5月～10月(6回)、
- 11月～2月(4回)
- そば打ち芹田道場
- 5月～11月(6回)
- 郷土の歴史「善光寺の一茶」
- 6月～12月(11回)
- ふれあい子育て学級
- 8月～9月(2回)
- スポーツウェルネス吹矢
- 8月～11月(4回)
- せりた健康セミナー(折り紙、消しゴムはんこ、わらべうた、簡単・健康体操)

今年度はこんな講座を
予定しています



おやきづくり



おりがみ



楽しい料理



しめ縄づくり



そば道場



ふれあい子育て



親子わくわく体験



芹の里散策

詳細は、回覧板・ホームページをご覧ください。

成人学校 講座紹介

月曜日・太極拳
 火曜日・陶芸(火曜日)
 ・かんたん着物リフォーム
 水曜日・やさしい英会話
 ・陶芸(夜間)
 木曜日・パッチワーク
 ・陶芸(木曜日)
 ・Let's Sing a Song
 金曜日・書道
 ※原則、3学期制(36回)
 ただし、かんたん着物リ
 フォーム、パッチワークは2学
 期制(24回)



太極拳講座



陶芸講座(夜間)



やさしい英会話講座



かんたん着物リフォーム講座



陶芸講座(火曜日)



書道講座



Let's Sing a Song 講座



陶芸講座(木曜日)



パッチワーク講座

メンバーの入れ替えはありますが、結成して17年になります。主な活動として、長野県全体の演奏会や長野市で行われる演奏会、施設でのボランティア等で演奏しています。そんな中、年配の方々は小学校の時ハーモニカを吹いたと懐かしく聞いてくださいます。

年2回の演奏会には、200人の出演者が有り童謡、演歌、ワルツ、タンゴ、クラシック等演奏があり、独奏から大編成まで感動し



松田 久子

利用者の声

ハーモニカ演奏グループ 「アンサンブル・レスポワール」

アンサンブル・レスポワールの意味は、フランス語で「希望」です。いつまでも希望を持って活動しようということなのです。

たりショックを受けたり勉強になります。

ハーモニカは「一人でオーケストラ」と形容されます。口の中で舌を使っているのに二人・三人で演奏する奏法で、一人で吹いているのに二人・三人で吹いているように聞かせるのです。ハーモニカは奥が深いです。

現在の問題は、若い人たちにハーモニカの演奏を聴いていただき、知っていただき一人でも多くの愛好者を育てることだと思っています。そのために、日々練習をして技術を磨きハーモニカの持つ音色の良さを知っていただくことだと思っています。興味のある方は是非、芹田公民館に足をお運びください。お待ちしております。

さくらの会

浜島恵美子

平成17年に芹田公民館の「着物リフォーム教室」にて1年生8名との出会いがあり、昼食会、おしゃべり会等を経て、それぞれのやりたい希望等を形にしたいとの思いから、芹田公民館との相談で、サークルとして月1、2回集まり、第1回の「冬用室内履」、以降、「ラベンダーステイック」、



「夏用帽子」、クリスマス兼お正月用「壁掛け」、どんぐりと椿の殻による「ブローチ」、冬用「マフラー」等色々な物を制作してきました。

そして今、吊るし人形「ピエロ」を楽しい会話を楽しみながら制作しています。

この良き仲間と、楽しい会話があるから長い間続けられることが出来たと思います。

長い間に、グループの一人がご主人の転勤で京都への転居はありましたが、今でも良き仲間として付き合っています。

私は、古里、鹿兒島にいつかは帰る時期が来ますが、それまでこの良き出会いを大切に、そして色々な作品を制作して、長野の想い出を増やしていきたいと思っています。

芹田ぶらぶら歩き

①

芹田公民館東側に熊谷山仏導寺というお寺があります。お寺は熊谷次郎直実が娘の玉鶴姫の菩提を弔うために建立したと言われていますが、そこには悲しい物語が言い伝えられていますのでご紹介します。

玉鶴姫物語 (仏導寺縁起より)

昔、平氏と源氏が戦っている頃、熊谷直実が一の谷の戦いで、平敦盛を組み伏せ首を切ろうと兜を取ってみると、まだ十五か十六歳という少年であった。ちよと自分の子供と同じくらい、首を討ち取ったが無常を感じた。その上鎌倉で土地の境界争いで負けてしまった。

そこで、浮世のはかなさを悟り、京へ行き法然上人の教えをうけ剃髪し、出家修道に励んだ。

熊谷 (現在の埼玉県) では、夫の行方を心配して妻は病気になる、そして亡くなった。残された娘の玉鶴姫は嘆き悲しみ、侍女を連れて父親の後を追って文治四年(一一八八) 信濃の国善光寺を目指して旅立った。

途中深谷 (現在の埼玉県) の禪刹(ぜんさつ)国齋寺にとまり、住職から尼僧(にそう)になっていくがよいと勧められた。玉鶴姫は妙蓮尼と名乗り、つれの侍女はこうげつと名づけ信濃追分まで見送ってもらった。

そして、川中島綱島へ着いた時、玉鶴姫は疲れから重い病気になる、玉鶴姫は「何かして欲しい」と願いました。しかし何としても川を渡り浄土の地へ行きたいと願いました。あ

いにく大雨で増水、川は渡れませんでした。ところが、川の中に翁(おきな)があらわれ「さあ船に乗りなさい」と招き、向こう岸まで送ってくれました。そして翁はあつというまに姿は見えなくなり、玉鶴姫の病気は重くなるばかりでした。

直実(蓮生坊)は、胸騒ぎがするので、馬に乗り犀川を目指して川の近くへきて、古びた小屋の中をのぞいて見ると二人の若い尼がいたので「どうしたのか」とたずねると、寝ていた尼が「もしやあなたは熊谷直実さまではありませんか」とたずねる。

直実は名前を言われ驚いたが、修行の身であるので「そうではありません」と答える。そして、小屋を出て帰りかけたが、「子をむなしくして何のためか」と、引き返して小屋に入り玉鶴姫を抱き上げたがすでに息をひきとっていた。

翌日、直実は玉鶴姫を厚く葬り塚を築きその上にケヤキを一本植えた。これが荒木(信大工学部西側)にある姫塚と言われている。

宮島甚一郎著「芹田地区ふるさと歴史探訪」より



姫塚のケヤキ

芹田地区地域公民館連絡協議会

- 会長 原田 文雄 (中千田)
- 副会長 荒井 祐司 (日詰)
- 副会長 金澤 範幸 (若里西町)
- 会計 小市 成海 (北中)
- 幹事 北村 明 (川合新田)
- 碓井 敬一 (母袋)
- 青木 信雄 (上千田)
- 武田 新一 (北市)
- 荒井 亮一 (南市)
- 中村 久美 (荒木)
- 松山峰嗣郎 (栗田)
- 塚田 章芳 (七瀬)
- 夏目 正三 (七瀬中町)
- 舍川 幸子 (七瀬南部)
- 金物 壽久 (南保)
- 徳竹 敦子 (若里中央)

スポーツ大会

- バレーボール大会
- 6月9日(日) ホワイトリング
- 野球大会
- 9月1日(日) 犀川第二緑地
- 卓球大会
- 11月10日(日) ホワイトリングサブアリーナ

研修会

- 館長・主事研修会 6月20日(木)
- 役員視察研修会 7月25日(木)

職員紹介

- 芹田公民館
- 館長 小林 正幸
- 主事 後藤 繁幸
- 職員 玉木ゆう子
- 竹澤美砂子 (新任)

退職

- 職員 松岡 舞

芹田支所

- 支所長補佐 笠井 英明 (新任)

転出

- 支所長補佐 保科 賢介 (長野市保健所環境衛生試験所長補佐へ)

芹田地区住民自治協議会事務局

- 局長 吉田 和敏 (新任)
- 職員 内山 咲子 (新任)

退職

- 局長 石川 幸夫

編集後記

新元号も「令和」に変わるとともに公民館も新築され、今年はずべてが新しいスタートの年となります。令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているようですが、公民館も人々が「つどい」「まなぶ」「つなぐ」という役割があります。新公民館では、人が気軽に集まり地域社会の活性化が図れるような場を提供することを心がけていきたいと思っていますので、皆さんのご来館をお待ちしています。